

事故事例 4 (一般貨物) 高速道路において速度超過により、P.A.から合流直後のマイクロバスに追突

曜日・時間・天候	(土)・5時10分・雨
場所	高速道路 制限速度 80 km/h 危険認知時速度 120 km/h
道路の状況	湿潤 幅員 18 m 右曲がり(平坦)
運転者	年令 22歳 運転歴 1年0月
事故時の乗務距離	70 km
損害	死者1名(バス乗客:67歳) 重傷者5名、軽傷者8名
<p>【事故の概要】当該運転者は寝坊により出庫予定時間の1時間遅れの4:00に運行管理者へ電話連絡をした後出庫した。出発が遅れたため運行計画とは異なる手前のI.Cから高速道路に入り、追越車線を時速120kmで運行中、P.Aより本線に流入しようとするマイクロバスを、走行車線を走行していた大型トラック(時速80km)が避けようと自車の前に割り込んできたため、追突を避けようとしたが間に合わないことから、走行車線に進路変更したところ、加速車線で十分加速することなく本線に流入してきたマイクロバスに衝突、この弾みでバスは左側路肩に乗り上げ横転した。この事故によりバスの乗客1名が死亡、当該運転者を含む13名が重軽傷を負った。なお、当該事業者は、過労防止の告示を満足しない運行計画を作成し、運転者を乗務させていた。</p>	
種別・用途・形状	普通・貨物・バン型
最大積載量	3,100kg
当時の積載量	3,070kg
当時の乗車人員	1人

【推定原因】

【事故の要因】

【事故再発防止対策】

